

砂層型メタンハイドレートフォーラム 2020

～ 「フェーズ4」の2年目、MH21-Sは何をしているのか?～

主催: MH21-S研究開発コンソーシアム

■開催日: 2020年12月16日(水)

■開催時間:

13:00 ~ 開場での受付開始 ※LIVE配信は開始時間(13時15分)までお待ちください。
13:15 ~ 17:30

■場 所: 独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC) 技術センター
千葉県千葉市美浜区浜田1丁目2番2号

■プログラム

| 13:15~15:30 第1部 (各講演の時間は、進行により前後することがございます。目安時間としてご参照ください) | | | |
|--|--|---|------------------------|
| 13:15 ~ 13:20 | 開会/事務局からの連絡 | MH21-S 事業推進チームリーダー | 保坂 雅之 |
| 13:20 ~ 13:30 | 石油・ガス開発について/石油・ガス開発とメタンハイドレート開発の違いと難しさ/「フェーズ4実行計画」について | MH21-S プロジェクトマネージャー (JOGMEC) | 山本 晃司 |
| 13:30 ~ 13:45 | 地下で何が起こっていたのか? 計測とモデルの組み合わせから見えること | MH21-S プロジェクトマネージャー (JOGMEC) | 山本 晃司 |
| 13:45 ~ 14:00 | ハイドレート胚胎砂層の浸透率特性の評価 | MH21-S 貯留層評価チーム 東京大学 准教授 | 今野 義浩 |
| 14:00 ~ 14:15 | 濃集帯選定のプロセス | MH21-S 三次元地震探査チーム | 下田 直之 |
| 14:15 ~ 14:30 | メタンハイドレートシステムとは何か | MH21-S 三次元地震探査チーム | タン ティン アオン |
| 14:30 ~ 14:45 | 商業化に向けたメタンハイドレート開発システム評価モデルの構築 | MH21-S 商業化に向けた検討チーム 東京大学 准教授 | 和田 良太 |
| 14:45 ~ 15:00 | 微粒子を用いた砂層内フラクチャー伸展の制御技術とCTIによる可視化実験 | MH21-S 貯留層評価チーム 東北大学 教授 | 伊藤 高敏 |
| 15:00 ~ 15:30 | 質疑応答・休憩 | | |
| 15:30~17:30 第2部 (各講演の時間は、進行により前後することがございます。目安時間としてご参照ください) | | | |
| 15:30 ~ 15:45 | アラスカ陸上産出試験の進捗 | MH21-S長期陸上産出試験チームリーダー | 沖中 教裕 |
| 15:45 ~ 16:00 | アラスカ陸上産出試験のサイエンスプラン | MH21-S貯留層評価チーム | 佐藤 みづき |
| 16:00 ~ 16:15 | 物理探査モニタリング | MH21-S三次元地震探査チーム | 藤本 暁 |
| 16:15 ~ 16:30 | アラスカ陸上産出試験地のコア分析結果 | MH21-S貯留層評価チーム | 米田 純 |
| 16:30 ~ 16:57 | The Gas Hydrate Challenge The Evolution of Gas Hydrate from a Gas Resource to a Gas Reserve (録画、日本語字幕あり) | Senior Scientists Central Energy Resource Science Center U.S. Geological Survey | Dr. Timothy S. Collett |
| 16:57 ~ 17:20 | 質疑応答 | | |
| 17:20 ~ 17:30 | ご挨拶 | 経済産業省資源エネルギー庁 石油・天然ガス課 課長補佐 | 山田 哲也 |

※上記内容は12月15日現在の予定です。都合により変更になる場合があります。